

【緑が丘地区】新庁舎建設に関する地区との意見交換会 要旨

日 時 令和元年9月14日（土） 15：00～17：00
 場 所 緑が丘防災コミュニティセンター
 参加者 地区 17名
 町 7名（町長、副町長、政策担当部長、企画政策課長、財務課長、企画政策課職員2名）

概 要

1. 町長あいさつ
2. これまでの流れ 「広報にのみや」より（説明）
3. 意見交換

参加者	議会が、行政はもっと地域の住民の意見を聞けと言っているそうだが、議員の立場放棄ではないかと思う。
町長	議員は議員で町民の方の意見を聞くと思いますが、行政の説明会も、限られた施設での実施でした。議員からそのような意見もありましたので、地元に出向いて説明し意見・質問を受けています。
事務局	3月議会で基本構想・基本計画（案）については、早急に修正し多くの町民の意見を聞くとともに、それを反映して策定するようにとの意見をいただきました。 それから町民説明会を行い、町としては修正したつもりでしたが、6月議会ではまだまだ時期尚早だということですので、町民のご意見を聞くのは、まだ十分で無いのではないかと反省のもと、本日の意見交換会を行なっています。

参加者	新庁舎に保健センターが入ると聞くが、どのような構想か。
町長	床面積が4,800㎡で保健センターや教育委員会等を入れることを考えていましたが、規模が大きいとの指摘があり、現在4,000～4,400㎡で考えています。小さくなることで考えていた課の全部は入らないため、ラディアンの一部に機能を移すこともありえます。
事務局	今後行なう基本設計で、町民ワークショップなども行い、新庁舎にどのような機能を入れるか、あるいはラディアンの一部にどのような施設を入れるかなどを考えていきたいと思えます。4,800㎡とか4,400㎡とかは職員数や役場の機能からの標準的な面積でしかあ

	りません。何階にどこの課が入るといいうのも全くこれからの話です。
--	----------------------------------

参加者	基本計画を修正して住民に説明したが、議会で否決されている。その混乱は一体何なのか紐解いて、実はこういったところで対立しているよとか、こういったところが議会で理解されていないとかを説明して欲しい。そうすると意見が言いやすい。
町長	基本構想・基本計画（案）で、免震構造を耐震構造に、面積も減らし変更して議会に出しましたが、次の段階に行く基本設計の予算を否決されました。基本構想・基本計画（案）が駄目ということではなく、基本設計に行くのが時期尚早ということでした。
参加者	基本構想・基本計画（案）の段階まで議会は戻ってしまったのか。
参加者（他者）	基本構想・基本計画（案）の内容はよろしくないので反対だと議会は言っているのだろう。
事務局	議会は基本構想・基本計画を策定することは認めています。当初免震構造で 26 億円余をお示ししたところ、議会からは面積を縮小し、免震構造は必要ないので耐震構造とし、金額を抑えるため、この 3 点を修正してほしいということで修正したのですが、今の段階ではストップという事になっています。
参加者	なぜストップしたのか。
事務局	議員各々に様々な意見があります。全体のグランドビジョンが必要、時期尚早、という意見などです。
参加者	議会は裁量権を認めないで反対しているのか。それとも意思決定の過程で透明性のことで反対しているのか。
町長	個別個別の意見がありますが、結果としてまだ次の段階に行くな、という事になっています。
参加者（他者）	次の段階の基本設計の予算を認めてないんだ。

参加者	私は反対している。「町民の暮らしを考える、町民の暮らしを守るために町政を考える」という会でメンバーと話をしている。学校の統廃合の問題もある。学校は学校として庁舎と切り離して考えましょう、庁舎は学校と切り離して考えましょうと言われるが、町の施設全体でどうするか考えないといけない。グランドビジョンがないといけないので、庁舎については反対している。
参加者（他者）	そういうことで反対している議員もいるのだろう。
参加者	私は議員ではない。反対している議員と意見は全く同じではな

	い。グランドビジョンが見えないと意見が言えないので示してほしいと思う。だから反対している。
--	---

参加者	今の庁舎の執務環境は劣悪だ。町全体の施設のあり方を考えることは必要だが、明日にも地震が来るかもしれない。反対する議員を説得して新庁舎を建てるべきだ。
-----	--

参加者	新庁舎を建てることに賛成だ。町の施設は不足しているが、耐震性は重要だ。施設の耐震性は大丈夫だが、庁舎は不足しているため、新庁舎が必要だと説明できるか。学校が優先だという意見もある。町の施設の耐震性はどうか。
町長	小中学校の耐震性は大丈夫です。これまで耐震補強をやってきました。一方で庁舎がずっと後回しになってきてしまいました。 老人憩いの家、児童館など地域の集会施設のうち9施設の耐震が不十分で、耐震補強が必要ですが、地域によっては、施設をまとめる必要もあることから地域の方と話を始めていきます。学校の統廃合も、どこか決まっているわけではありませんが、いずれ必要となります。いずれもお金がかかる話であり、これらも一緒に全体的に考えていく必要がありますが、無理のない財政計画を立てています。

参加者	町の施設全体の計画を説明して、全体の計画を放棄したわけではないと説明すべきだ。
-----	---

参加者	総務省調査で神奈川県内の庁舎で耐震が未定なのは二宮、大磯など3つだ。国の支援期限が迫っている中で庁舎新築はあって良いと思う。大磯町は考えがあって庁舎よりも地域の集会所を優先している。総務省調査の結果を議会が理解しているのに、どうして5千万円の基本設計費に反対しているのか、わからない。先ほど財政状況の話が出たが、健全化比率の表も出て、ラディアン償還もそろそろ終わるはずだし、財政的にこういうことになるんだと説明すべきだ。
事務局	提示している資料は健全化比率ではありませんが、実質公債費比率(借金の比率)や将来負担比率で二宮町は健全な状態にあります。地方債残高全国ランキングでは、下から数えたほうが早いぐらいに二宮町は借りているお金が少ないです。財政的に二宮町は健全で

	す。
参加者	その説明がないと、町民は地方債が 70 億円ある、償還が毎年 7,000 万円あるとびっくりしてしまう。
事務局	<p>確かに残高は 70 億円ですが、そのうち（資料の）オレンジ色の部分は「臨時財政対策債」といい、国が地方交付税を用意できない間は、あとで戻すからとりあえず、町に借りておいてくれというものです。これは後年度町に入ってくるので、それを除くと実質の借金は次のページのように半分近くに下がった状況です。</p> <p>約 21 億円あったラディアンの借入分も、これまで返してきて来年無くなります。庁舎を仮に建てる分が、グラフの赤色の部分となり、緑色が今後想定される学校など他施設の改修の見込みです。</p>
参加者	これまで庁舎や集会所等の耐震化をおろそかにしたのは否めないが、反対派が言う全体施設の計画を、早めに進めていけば町民の理解は得られるのではないかという感じがする。

参加者	役場庁舎の建替えが止まっている一番大きな要因は何か。学校が空くのにその辺も含めた説明が不十分で納得できない人がいる、というのが最大の問題なのか、またどう把握しているのか。
町長	現在学校の統廃合で意見交換会をやっています。平成 29 年の庁舎検討では、学校統廃合検討はなかったので、選択肢に校舎転用案はありませんでした。いつ学校が空くかは未定であるのでそれを含めての検討です。
参加者	学校を利用した場合の利便性とか、庁舎として IT 化を見据えた改造等を考え、現在の庁舎新築と比較した説明を真っ先にすべきだ。説明は、お金だけではなく利便性とか住民のために必要なこと等トータルな内容が必要だ。お金だけの説明で判断するのはやめたほうが良い。

参加者	学校の庁舎利用の話は出ると思う。それに明快に答えなくてはならないと思う。学校が空けば庁舎としてどうなのかと言う人がいる。庁舎も古いが学校も建って 40 年過ぎている。耐震化をしたが、庁舎が入れば更に耐震化が必要ではないか、また老朽化も進んでいる。明確に答えないと不信感が生まれる。
事務局	<p>学校利用はどこの学校かと言えない事が一番困ることです。全国で廃校を庁舎として利用した事例はありますが、費用は様々です。</p> <p>ただ、いつ学校が空くかは分からないことなので、いつ地震が来る</p>

	か分からない中で、それまで待てないと考えています。
--	---------------------------

参加者	学校の統廃合で、学校の土地利用の話があったではないか。それを答えればよいのではないか。決めているわけだろう。
事務局	想像はしていますが、地域との合意形成が必要なことなので、どこが空くか分かりません。
町長	5～10年後先になると考えられますが、どこかは空くことになると思います。コミュニティセンターなり地域の集会所なり、また現在でも避難所・避難場所となっていますので、そのような活用としては考えられると思います。

参加者	命の問題だ。早く庁舎新築を進めるべきだ。板倉町（群馬県）の庁舎建設は21億円と予算が近く、同じような規模、町の財政も我々よりよくない状況だ。板倉町の庁舎をもっと調べてこうですよと議員に説明すれば進むのではないか。お金の問題が絡んでくればなかなか賛成が得られない。板倉町に比べて二宮町はこうすると説明すれば良いのではないか。今の庁舎の移転後の考え方をしっかり言わないといけない。だから空いた校舎を庁舎に使えば、と言うような意見が出てくる。移転後の庁舎跡も集会所ほか利用はいくらでもある。お金をかけるだけでなく、お金を生む考えも必要だ。
参加者(他者)	私も同じ考え。さっさと早くやるべきだ。大規模地震が来ることがわかっていて、老朽化して耐えられないなら建替えるべきだ。議員を早く説得するべきだ。議員が何でそんなに反対するのかが分からない。
参加者(他者)	町が来るより、反対の議員が来て説明すべきだ。何が反対なのかを聞く。議員報告会をなぜやらないのか。

参加者	今の庁舎を耐震化するのにいくらかかるか。10億円か。17億円？それは町民センターを含めてだろう。
事務局	庁舎だけで耐震化に約10億円です。
参加者	撤去はいくらか。
町長	役場の解体費は約8,000万円です。

参加者	庁舎新築が頓挫したのは町として恥ずかしいことだ。町民の意見を聞くことは良いことであるが、専門性が必要であり素人の考えには無理がある。自信を持って進めていくことはいいことだと思う。
-----	---

	<p>これまでの進め方を改めて、見てみたが手続き上問題はない。</p> <p>ポピュリズムではないが、なんでこれ以上住民の意見を聞かなければならないのか。専門家が自信を持って作った計画であれば、進めてもらいたい。議員も説得し、どう考えても早くやるべきだ。減らせば良いというのではなく、要るものまで安易に減らすことが良いのか。26億円とか、4,800㎡とか必要なものは、減らすべきではない。ラディアンに施設を移すから減らすというのか。あとで後悔しないようにすべきだ。</p>
参加者(他者)	<p>26億円を20億円に減らしたら、やっぱり財政は厳しいからだなと意見を言う町民もいる。そのタイミングともう一つ、町民がどうのこうのと言うのは、こここのところで危機感を積み上げていくのに、かなり町民に近いところの予算を削っていないか。</p>
事務局	<p>それはないと思います。</p>
参加者(他者)	<p>私にはそれがすごくある。例として、緑が丘防災コミセンの机と椅子を最新の軽いものをお願いしたが、予算が厳しいからと言われた。利用者が重いものを出したりしまったりしている。地区長・自治会長が困って、自治会予算で買って町に寄贈するという形になった。こういうやり方をやっている町民の理解はなかなか得られないと思う。一例で言っている。他の地区からもそういう話が出ている。議員さんと話したが、やはり予算執行の問題意識を持っていた。その話の中で、吾妻山に5,000万円使っているという。これを大きく削減してもっと住民に近いところに予算を配分すべきだ。議員も言っている。</p>

町長	<p>役場側と議会側の正式な窓口になることを目的に設置された新庁舎建設特別委員会において、その委員会の意見等により26億円を20億円の案に修正したのですが、本会議では少数差で否決となってしまいました。議会全体の意見がまとまらず、町としてもどう進めていくか図りかねている状態です。議会に意見をまとめて欲しいと言ったのですが、否決した議員、各々で考えが異なり、なかなかまとまりそうにない状況です。</p>
----	--

参加者	<p>近隣の庁舎が免震構造であるのに、なぜ免震構造にしないのか。メリットはあると思う。将来的に良いものを建てようということであれば、26億円の予算をケチることはない。</p>
参加者(他者)	<p>3階建てで免震構造はどうかと思う。</p>

参加者	議会が可決されれば、スーッと進んだのか。
町長	いくつか段階がある中の、基本設計が予算に載り、その分は進んだのではないかと思います。
参加者	この説明会は、議会の可決を得るために、住民も賛成してるよということが欲しくてやっているのか。もしあの時、可決されていれば、このような説明会はなかったのか。
町長	次の基本設計のステップの中で、住民参加のワークショップを開催する予定をしています。
参加者	議員は本当に是々非々で賛成だ反対だと言っている感じか。
事務局	住民への説明が足りないということで反対している方もいらっしゃいます。
参加者	反対意見がまとまらないのだろう。
参加者(他者)	反対は反対なんだ。
参加者	なぜ反対なのかが、まとまらないのだろう。まとまらないのはまずい。
参加者(他者)	住民への説明が足りないから反対だと言っているのか。
参加者	それは議員として逃げている。
町長	学校を活用するという方たちと話した際に、このような会を開くべきという意見がありました。
参加者	ポピュリズムで物事を進めていくのは問題がある。大衆迎合主義で進めるのではなく、是々非々で進めること、住民が話し合っていることを議員に言うべきだ。議会で否決しているが、議員がいないところで話し合ってもしょうがない。
参加者(他者)	この先、議会対策はどうなっていくのか。10月14日だと思うが、反対した議員7人のうち4人が議会報告会を行なうと聞いている。その場で意見を言おうかと思っている。6月議会では否決は最初から決まっていたようだ。一旦否決したものを後に賛成するのは相当の理由付けがないと難しい、だから否決はまずいと議員に言っておいたのだが。だから議会対策を考えて欲しい。できるだけ協力する。

参加者	庁舎は大地震の際、倒壊はしないとか、学校を庁舎に使うとかの話が出ているが、集会施設は耐震の旧基準さえ満たしておらず、地元住民が必要なのは集会施設の耐震化だ。いざという時の避難所だから。
-----	--

事務局	町内9つの集会施設は、旧基準でできており昭和56年の新基準に合っていません。また、集会施設は避難所ではなく、集合するための一時避難場所です。避難が必要な場合には、学校へお願いします。
町長	反対の議員も現庁舎に問題があることは理解していますが、庁舎の代替として学校の話が出ています。学校の小中一貫のことも、集会施設の耐震化も、後回しということではなく同時並行で考え、予算化も考えます。全体をしっかりと見て欲しいという意見です。
参加者(他者)	説明資料の中にそれをつければ良い。そうすれば町民は安心する。集会施設の耐震化も重要だが、庁舎は災害対策の中心となるので、しっかり造らないといけない。

参加者	庁舎のランニングコストなどキャッシュフローの説明がないが、どうなのか。財政力指数は今後低下するのか、その辺の説明がない。
事務局	現庁舎は修理費や光熱水費等で年間約3,000万円掛かっていますが、新庁舎では年間約1,800万円程度にできる見込みです。
参加者(他者)	それには耐震構造のメンテナンス費用も入っているのか。
事務局	免震構造ではなく、耐震構造なので、その費用は入っていません。
参加者(他者)	耐震構造でもメンテナンス費用もかかるだろう。
事務局	点検は現在でも毎年行なっていますので、その費用は変わりません。
事務局	財政力指数は、例えば教育福祉でこれぐらいの児童数で、これぐらい費用がかかり。それに対して税収はこれぐらい、と毎年変わってきます。ただ、税収が減れば当然下がってきます。
参加者	庁舎の建設は、負担になってくるのか、ならないのか。
事務局	庁舎建設が仮に20億円だとすると、貯金を8億円行い、残り12億円を借りたいと考えています。借りる12億円の30%の3億6千万円は国が交付税として返してくれます。町が返済してく金額は毎年2,800万円の予定です。ランニングコストが1,000万円くらい減れば1,800万円となりますので返済計画として無理があるとは思っていません。
参加者	そのデータは反対している議員も分っているのか。理解していないのではないのか。
町長	もちろん議員にも説明しています。皆さんへの説明資料も分りやすくするよう直しています。長時間をかけて町民の方に、町の課題や財政を理解いただくのは難しいですが、このような会で話す機会

	をいただきました。他の地区でも同様に予定しています。また、さまざまな団体等で話す機会をつくりたいと思っています。説得ということではなく、説明しご理解いただきたいし、不安等に対して答えていきたいと考えています。
参加者	こういう資料はホームページで見られるのか。
事務局	今日の資料は5月末の説明会の資料ですので、見られます。
参加者(他者)	町民の考えのズレがかなり明確になってきたと思う。その辺をもう少し整理して、資料作りや、説明の仕方など説明責任を果たすようやってもらいたい。どうしてもズレがあって、ズレが不安になって、それが反対につながっていくのではないか。心配事があるということを理解してもらいたい。
参加者(他者)	反対している人が、なんで反対しているのか、きちっと答えられるようにしてほしい。みんな賛成している。